

6 開かれた市政で誰もが信頼し合えるまち (行政運営)

公共施設マネジメント推進に要する経費	12,088	0	0	0	12,088	新庁舎・(仮称)新福祉会館建設に伴い未利用となる跡地等について、今後市民参加により策定を予定する活用計画の指針とするため、活用方策の庁内方針を作成
内部情報システムに要する経費	298,139	56,911	0	10,000	231,228	行政手続のデジタル化を推進するため、簡易版電子申請サービスを本格導入
文書事務に要する経費	22,746	3,001	0	0	19,745	文書倉庫敷地内のブロック塀改修工事を実施

7 新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰対策関連事業

農業振興対策に要する経費	9,057	1,550	0	0	7,507	市内農業者の経営を支援するため、農業振興連合会が実施している環境負荷を低減した農業用資材の購入者に対し、原油価格・物価高騰に伴う価格上昇相当分を上乗せし、購入費の一部を補助
商工振興に要する経費	668,411	48,907	0	23,229	596,275	市内事業者支援、市民の生活応援および地域経済活性化のため、販路開拓に取り組む事業者の支援、こがねい地域応援券の発行、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施
生活困窮者自立相談支援事業に要する経費	77,772	65,008	0	0	12,764	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請期限および事業期間を延長
新型コロナウイルス感染症対策に要する経費	170,950	56,242	0	24,600	90,108	新型コロナウイルス感染症の影響下における感染症対策のための補助、物価高騰の負担を軽減するための支援金等を交付
感染症予防関係に要する経費	37,584	6,510	0	2,024	29,050	自宅療養者および濃厚接触者に対しパルスオキシメータおよび生活に必要な物品を供与するとともに、買物支援事業への補助を実施するほか、PCR検査を受ける軽症者のうち、医療機関への移動手段がないものを対象とした送迎サービスを実施
新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費	1,713,071	1,200,857	0	1,181	511,033	新型コロナウイルスワクチン接種を迅速かつ適正に実施できる体制を構築し、接種を実施
子ども子育て応援事業に要する経費	107,412	3,632	0	0	103,780	物価高騰の影響のため、0歳から18歳までの者を対象に電子版商品券を支給することで、家計への負担軽減を図り、子どもの学びおよび生活を支援
学校給食に要する経費	387,728	0	0	0	387,728	物価高騰の影響による保護者負担を増やすことなく、これまでどおりの栄養バランスや量を保てるよう、学校給食の食材費等の増額分を補助

# 令和5年度 上半期の財政状況

## 予算の執行状況

**【図C】市債の目的別内訳**  
 市債現在高177億2,651万3千円  
 ( )内は、市債総額に対する比率  
市民1人当たりの額 142,138円  
 人口124,713人  
 (令和5年4月1日現在)

<b>臨時財政対策債</b> 38億9,213万4千円 (22.0%)	<b>都市計画事業</b> 62億3,373万2千円 (35.2%)
<b>文化センター等事業債</b> 14億6,366万4千円 (8.3%)	<b>下水道の建設</b> 8億5,950万2千円 (4.8%)
<b>小・中学校の建設</b> 2億7,248万2千円 (1.5%)	<b>その他</b> 減税補てん債、一般土木事業、福祉施設の建設事業等 50億499万9千円 (28.2%)

市の財政は、皆さんから納めていただいた税金や国・都からの補助金などで賄われています。これらがどの仕事に使われているかを、令和5年度上半期(4月1日～9月30日)における予算の執行状況を通してお知らせします。

問財政課財政係 ☎042-387-9802

今年の9月30日現在における予算額は、一般会計と特別会計を合わせて総額756億93万9千円となっています。これは当初予算720億7,409万4千円(繰越事業費繰越財源充当額1億5,914万円を含む)に、補正予算額35億2,684万5千円を加えたものです。前年同期と比べ1.2%の増となりました。

### 一般会計

道路や学校、集会施設等の公共施設の建設や改修、少年自然の家(清里山荘)・総合体育館の運営や委託、社会福祉、消防、ごみ処理など、市が行う事業の大部分を賄います。総額は前年同期と比べ0.3%の減となっています。主な財源である市税の収入率は、前年同期と比べ0.1ポイントの減となっています。また、全体の収入率は、前年同期と比べ1.2ポイントの増となっています。(図A、図B)

### 特別会計および公営企業会計

各特別会計は、前年同期と比べ国民健康保険は5.3%、後期高齢者医療は5.1%、介護保険は4.4%のそれぞれ増となっています。公営企業会計は、下水道事業が前年同期と比べ収入は0.5%、支出は2.2%の減となっています。(表1、表2)

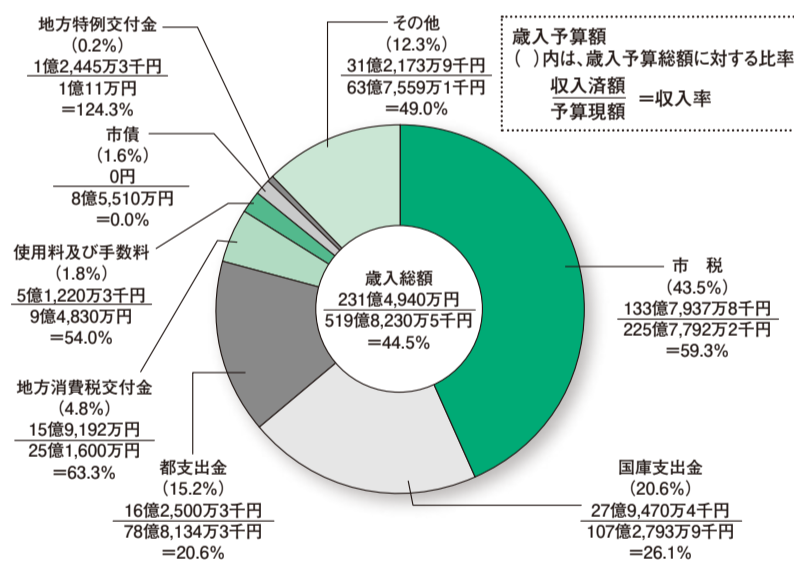
### 市債

福祉施設の建設、都市計画道路整備などのまちづくり、小・中学校の改修、下水道事業には、多額の資金を必要としますが、この資金の一部を国や都・銀行などから長期にわたって借り受け、事業に充てています。このような市の長期借入金のことを、市債といいます。総額は、前年同期と比べ、6.4%の減となりました。(図C)

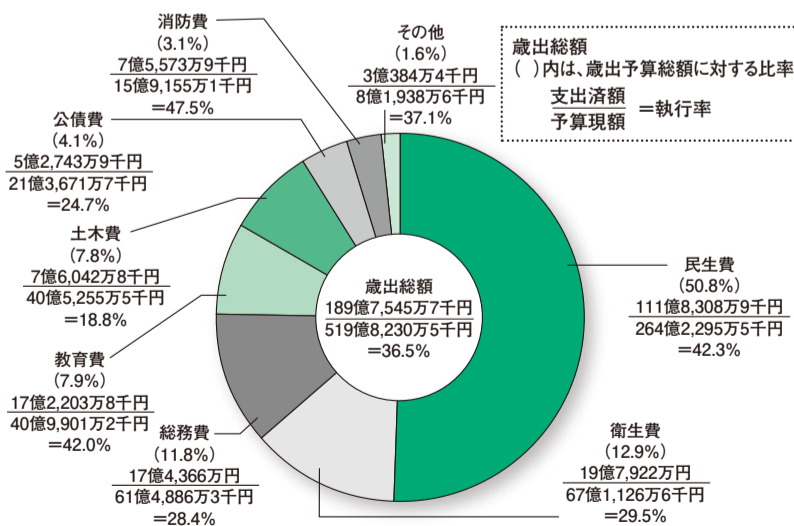
### 市有財産

市が保有し管理している財産には、市役所の庁舎をはじめ、学校や集会施設などの建物や土地、その他の物品、基金などがあります。総額は、988億5,074万6千円で、前年同期と比べ0.6%の増となっています。(図D)

【図A】一般会計執行状況(歳入)



【図B】一般会計執行状況(歳出)



【表1】特別会計執行状況 (単位:千円)

区分	予算現額	収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)
国民健康保険	11,174,500	4,444,927	39.8	3,917,955	35.1
介護保険	9,355,533	4,351,034	46.5	3,699,331	39.5
後期高齢者医療	3,088,601	1,376,133	44.6	953,209	30.9

【表2】公営企業会計執行状況 (単位:千円)

	下水道事業		
	予算現額	執行済額	執行率(%)
収入	2,270,425	891,776	39.3
支出	2,515,420	799,928	31.8